

## 卒後30周年の同期会開催

### 平成11年卒同期会

1月2日（水）午前11時半から秋田市の秋田ビューホテルで、107人が参加して卒業30周年記念の同期会を開催した。今回は幹事事務局の丸野内彦太君を中心にSNS等を活用した結果、住所未判明だった162人の住所が新たに判明し総勢416人に案内を送付した。平成11年卒の住所判明率は9割を超え、同窓会で2番目まで上昇したことは大きな喜びとなった。

同期会はずまず記念撮影に臨み、その後逝去された恩師へ黙祷を捧げた。小野寺純也君が司会を担当し、幹事長桜田浩君が挨拶、5人の来賓を代表して県教育長の米田進先生からご挨拶と乾杯のご発声をいただいた。祝宴に入ると一気に会場は盛り上がり、48歳を迎え各界各層で活躍している同期の熱気は冷めることなく、担任の先生の胸上げも含めて、高校時代を彷彿させるような濃密な時間を過ごすことができた。2次会にも80人超の参加者があり、仲間と共有する時間を惜しみつつ散会した。なお、当日は同窓会作製のスポーツタオルの販売にも協力し、50本を売り上げ、後日10万円を同窓会に届け、OBとしての役割を果たすことができたことも報告しておきたい。（澁谷 明人 記）



## 楽しかった“仙波学年”

### 平成11年卒同期会

1月2日、秋田市の秋田キャッスルホテルで平成11年卒同期会を開催しました。恩師7人と級友70人が参加し旧交を温めました。

友との語らいが楽しかったのは言うまでもなく、盛り上がったのは恩師らの挨拶でした。当時の学年主任だった仙波昭彦先生からは「かつてないほど大変な学年だった」とのお言葉。現在、教師として教壇に立っている級友らはその苦勞に共感してか苦笑いしておりました。自らが好きな特撮ヒーローのことだけを話して終わる恩師もあり、「変わらないなあ」と嬉しく感じました。3回目となる今回の同期会には、生徒会長だった佐々木亨君が初めて参加。「秋田のために何ができるか考えよう」との力強く感情のこもった言葉は、やはり我々が生徒会長だと実感させてくれました。

参加人数は微減しているものの、毎回素晴らしい時間を過ごせています。今後も互いの連絡を密にし、ネットワークを維持していきたいです。次回開催時には「不惑」を迎えている年齢。子育てや仕事に忙しい時期ではありますが、一回り成長した皆に会うのを楽しみにしております。（高橋 尚義 記）



## 3年間の活躍讃え飛躍祈る

### 陸上部OBOG会

2月28日、同窓会入会式終了後に陸上競技部OBOG会の入会式が同窓会館（羽城館）で開催されました。

平成30年度卒業生16人を迎え、佐々木時夫会長（昭和47卒）、三船新次顧問（昭和31卒）はじめOB6人、それに陸上部の南都勲監督、伊藤健一、佐藤健一両顧問が出席し、昼食会を兼ねて行われました。

はじめに佐々木会長から、この3年間の努力と活躍をたたえる挨拶があり、引き続き卒業生を代表して男子主将の土田訓徳さんに記念写真と襷が贈呈されました。土田さんからは、陸上部で得たことや感謝の気持ちが語られました。

卒業生の皆さんには、秋高陸上部で培った経験を忘れず、今後はOBOGの一員として現役部員たちを支援してくれることを期待しています。（事務局・榎 昌範=昭和50卒 記）



## 卒業10周年同期会を開催

### 平成21年卒同期会

10年前に開催した「雫祭」。この1月2日、10年ぶりに一夜限りの幕が上がりました。同期生154人に恩師11人を加え、165人が一堂に会した日。久々に見た懐かしい顔に、10年前の校舎での青春が一瞬にして蘇ったようでした。

我々が学年主任、佐藤武先生からご挨拶をいただき、積み重ねた当時のお話を披露していただきました。途中で行われたクイズ大会では、学級ごとに3人ずつ代表者を出してチア、恩師、クラス対抗など思い出を振り返りながら問題に答えていきましたが、どのクラスも見事に答えを一致させ、あまり差が開かないという戦況でした。2次会に137人、3次会55人が参加して夜な夜な続いた同期会。一夜限りの宴の中で英気を養い、それぞれの立場で活躍されることでしょう。

また5年後、10年後に集まれることを楽しみにしております。（同期会実行委員・小松 由佳 記）

